

いま
3.11 から 7 年—健康影響の現在をどう考える？

牛山元美医師 講演会

「未来にむけて、今できること

—臨床医が見た原発事故後の7年—



県境を超えて拡散された放射性物質は、私たちの暮らしを大きく変えました。あれから7年、原発事故がもたらした被害の全容は、いまだ明らかになってはいません。特に、私たちの健康にもたらす影響は、科学的に未解明なことも多く、様々な情報や意見が飛び交う中で、漠然とした不安を抱えている方も多いのではないのでしょうか？

この7年間を通し、臨床医として福島県内外で被災者に寄り添ってこられた牛山元美医師から、活動を通して見えてきたこと、今考えていることなどについてお話をいただきます。原発事故後の健康被害の現状はどうなっているのか？福島県「県民健康調査」の結果をどう見たらよいのか？そして私たちの地域では、今何ができるのか？ 皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【日時】 2018年3月17日（土）

午前の部：10:20～12:00 講演会（10:00～開場・会議室2）
午後の部：13:00～ 個別健康相談会（予約制・会議室1）

参加費
200円

【場所】 柴田町 槻木生涯学習センター

牛山元美医師プロフィール

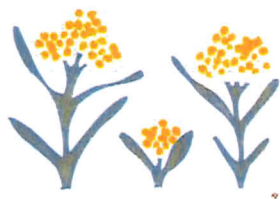
さがみ生協病院内科部長。
島根大学医学部臨床教授。
11311 疫学調査団理事。
原発事故後、福島県や関東地方の子どもたちの甲状腺検診にあたる。2016年3月に発足した「311 甲状腺がん家族の会」の世話人を経て、現在は「3.11 甲状腺がん子ども基金」顧問。



会場へのアクセス



宮城県柴田郡柴田町槻木下町 3-1-60
JR槻木駅より徒歩7分。駐車場あり。



- ・主催：かたつむりの会
- ・共催：日本キリスト教団東北教区放射能問題支援対策室いずみ
- ・問い合わせ & 個別相談会のお申し込み
鳴原（090-2990-4124）、神所（080-3144-8663）
Mail：311katatumuri@gmail.com